



【令和4年度 第1回即応態勢点検】

令和4年4月22日

令和4年4月22日（金）自衛隊札幌病院（病院長 鈴木陸将）は、即応態勢の実効性向上を目的とした『令和4年度第1回即応態勢点検』を実施し、防衛警備上の事態、災害派遣及び航空機事故における事案発生時の初動対応を演練した。

部隊当直司令は、『0500頃、道東地区において震度6強の地震が発生の状況付与を受け、速やかに電話及びメールによる非常呼集を開始、当初残留の営内隊員が病院地下資材搬入口に集合し、携行資材の搬出・集積を行った。その後救護班の要員が到着し、人員・装備及び携行資材の点検から車両積載までを迅速に完了させ、派遣準備完了を統裁官（病院長）へ報告した。

統裁官（病院長）は、『実派遣においては、これからがスタートであり物心両面の準備を引き続き維持せよ。また本訓練での不備事項は各人においても速やかに是正せよ。』と訓示し状況終了とした。

本点検においては、北部方面衛生隊から人員及び救急車の支援を受け、実動で実施することができ、初期目的を達成した。



状況付与



病院長へ電話報告



電話呼集



資材搬出・集積



派遣車両の到着（方面衛生隊）



携行する衛生資材の確認



資材積載



救護班準備完了



派遣準備完了報告



統裁官訓示